

部活動の地域展開って何？

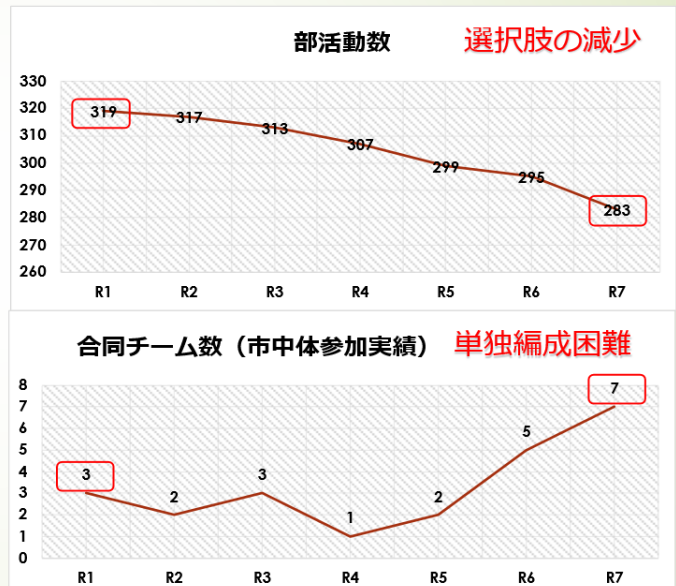
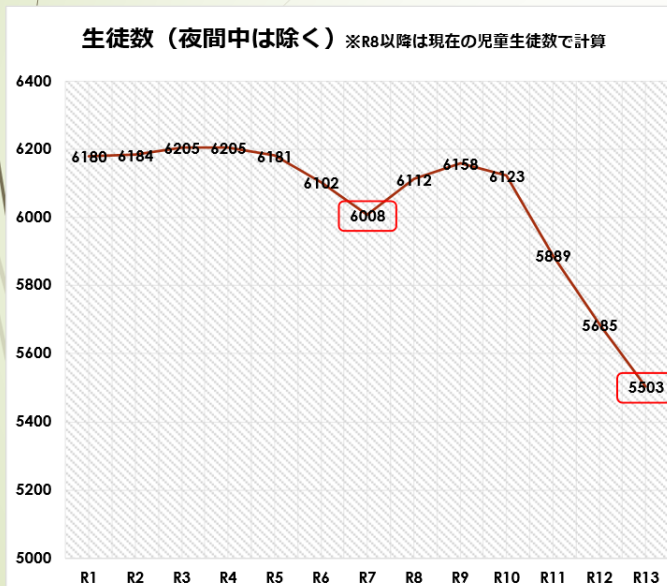
学校が中心となって実施してきた部活動を、学校だけでなく地域の団体・指導者・関係機関等と連携しながら、地域全体で支えていく取組です。単に活動を地域へ移すということではなく、生徒が将来にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を、地域とともにつくっていくことを目指します。

なぜ、地域展開をするの？

- ① 少子化により部員数が減少し、学校単位でのチーム編成や活動の継続が難しくなっているため。
- ② 部活動数の減少に伴い、通学している学校における部活動の選択肢が少なくなっているため。
- ③ 専門的な指導や安全な活動環境を、地域と連携して整えていくため。
- ④ 教職員の長時間勤務を改善し、学校教育の充実につなげるため。

第1回学校教育審議会配付資料より

市立中学校における生徒数及び部活動数等の推移



地域展開に向けて市はどのような取組をしているの？

年度	取組内容
令和6年度	○国の委託事業を活用した実証事業（離島部への支援、合同練習会、大学との連携 など） ○部活動指導員配置（2校3名）
令和7年度	○国の委託事業を活用した実証事業（離島部への支援、合同練習会、大学との連携 など） ○部活動指導員配置（4校5名） ○学校教育審議会において「佐世保市の部活動改革について」をテーマに意見聴取開始（令和8年8月までに5回開催予定）
令和8年度	○部活動指導員配置（6校7名） ○ 合同部活動実施要項 策定及び運用開始 ○部活動地域展開推進方針策定（予定） ○ 拠点校部活動実施要項 策定（予定）

『合同部活動』『拠点校部活動』って何？

「合同部活動」「拠点校部活動」とは

「合同部活動」とは

少人数合同ではなく、在籍校の部員数に関係なく合同で通年活動できる制度

例 バレー部



A中：7名



B中：8名

地域
ク
ラ
ブ
化

「拠点校部活動」とは

在籍校に希望する部活動がない生徒が在籍校以外の拠点校部活に入部し活動する制度



A中：バレー部



B中：バレー部なし



C中：バレー部なし



D中：バレー部なし

目的：子どもの活動機会の確保です。
(大会等に出場させることはありません。)

【合同部活動制度】

学校単位のチーム編成ができない学校が増加しており、中体連が規定している「複数校合同チーム編成規定」とらわれず、複数の学校部活動が部員数に関係なく、通年で活動ができる制度です。令和8年4月から運用を開始し、今年度の佐世保市中学校体育大会には、5つの部がこの制度を活用し出場しています。

【拠点校部活動制度】

学校部活動数の減少に伴い、在籍校において希望する部活動がなく、他の部活動に入部したり、活動をあきらめたりする状況があります。そのような子どもたちが他の学校の部活動に入部し、活動ができる制度です。ただし、拠点となる学校の受け入れ体制の問題等がありますので、現在、中学校長会、中学校体育連盟、中学校文化連盟と細かな条件等の調整を行っております。令和9年4月から運用する予定としております。

部活動指導員って何？

学校部活動において、「専門的な指導を受けられる環境づくり」と「教職員の指導負担軽減」のために、佐世保市が雇用し、教職員に代わって休日の部活動の指導や大会等への引率業務を行うパートタイム会計年度任用職員です。現在、6校7つの運動部活動に配置しています。配置にあたっては、各学校校長からの配置要望を聞くとともに、候補者の推薦をいただき、教育委員会事務局で決定しています。



佐世保市としては、現在「部活動地域展開推進方針（仮称）」を策定するために、学校教育審議会に諮問し、審議を行っています。「地域を含めた受け皿をどうするのか」「指導者の確保はできるのか」「活動場所はどうするのか」「保護者の費用負担はどうなるのか」「移動手段は」など多くの課題が挙げられていますが、すでに実施している市町の課題なども研究しながら、佐世保独自の推進方針等を今年度中に策定する予定としております。